



災害発生時における住民避難行動の確認と災害に対する住民意識の向上・啓発を目的として、富山県立山町で総合防災訓練が開催されました。立山砂防事務所からは、土砂災害の模型展示、土砂災害及び昭和44年8月災害に関わるパネル展示・映像上映、ドローンを用いた上空からの常願寺川映像のモニター映像の上映を行いました。

土石流の恐ろしさを学んでいただくと共に、避難のタイミングや避難時の行動について家族や地域で確認することの必要性を認識し、防災に対する意識を高めていただきました。

開催日時：令和元年10月26日(土) 9:20~11:30

場所：立山町役場(情報伝達訓練)

利田小学校グラウンド及び体育館

訓練想定：前日から大雨洪水警報が発令されており、断続的な降雨により、常願寺川において氾濫の危険性がある

- 訓練内容：
- ①住民避難訓練
 - ②ワークショップ
 - ③応急救護訓練
 - ④炊き出し訓練
 - ⑤給水活動訓練
 - ⑥通信確保訓練
 - ⑦災害ボランティア現地対策本部設置訓練
 - ⑧災害協定事業者・機関による展示など

ドローン空中撮影映像上映



大型ドローンの展示

上空からのドローン映像を見つめる参加者達



ドローンから映される参加者達の映像に手を振り答える様子

防災訓練の様子



自衛隊による炊き出し訓練



防災ヘリによる伝達訓練



ボランティアセンター開設訓練



総合防災訓練には多くの地域住民、関係機関が参加されました

土砂災害模型展示



模型を使った土石流・地すべりがけ崩れの解説に、皆さん真剣に耳を傾けられていました。

土砂災害模型展示の実演



事務所管内施設の紹介 S44災害動画映像の上映



展示パネルの解説